

公益財団法人 ソロプチミスト日本財団
平成27年度 ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞 募集要項

趣 旨

本賞は、教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている有能な女性を支援し、さらなる女性の躍進への足掛かりとなる機会を与えることを目的とし、研究費を支援する

応募資格

日本国内で上記の趣旨にかなった研究をしている日本人女性

*国内の大学、その附置研究所、大学共同利用機関、ならびに前述の機関に準ずる機関に所属し、主体的に研究を進めている常勤の研究者(学生は不可)

・任期付研究者の場合には、応募時点において、当財団が指定する支援金使用期間の雇用が見込まれること

*営利企業等(株式会社等)に所属する研究者は対象外となります

*申請にあたり所属機関の長の承諾を得ていること

*原則として50歳以下の方がご応募いただけます

*ソロプチミスト会員および関係者は、応募できません

(関係者=ソロプチミスト会員の三親等以内の女性)

※同一年度に、同一の候補者が複数の賞に応募することはできません

支援件数・金額

受賞者1名へ、研究費として500万円を支援します

※当財団から支援する研究費は、所属機関の規定に従った研究費として管理していただき、受賞者の研究のために使用していただきます

提出書類

・応募申請書：1通(別紙書式による)

・推薦状：2通(別紙書式による)

*推薦者は2名とする

*1名は、応募者の研究を指導する立場にある人。もう1名は、応募者の研究環境について述べられる人とする

※「応募申請書」「推薦状」には推薦クラブ会長の署名が必要です

※入力可能な応募書類(PDFファイル)があります。ご入用の方は、推薦クラブへご依頼ください

提出先

公益財団法人 ソロプチミスト日本財団 事務局

※『応募申請書』1通と『推薦状』2通は、推薦クラブ経由でご提出ください

締切り

平成27年4月30日(公益財団法人ソロプチミスト日本財団事務局 必着)

選考方法

外部の有識者を含む当財団の選考委員会が書類選考を行い、決定いたします

※面接をさせていただく場合があります

結果通知等

選考結果は9月に発表します

受賞者へは、推薦クラブを通じて、事前に、内定のお知らせをします

受賞者への連絡は、原則として推薦クラブを通じて行います

なお、「受賞者一覧」は当財団ホームページに掲載いたします

※受賞の経緯についてのご照会には回答いたしかねますのでご了承ください

贈呈式

ソロプチミスト日本財団 平成27年 年次贈呈式【サンメッセ香川（高松市）11月11日開催】

支援金使用期間・支援金の送金

支援期間は贈呈決定から（平成27年10月1日から）2年間とします。なお、支援金使用期間が2年にわたる場合も支援金は年次贈呈式終了後に全額を振り込みますので、所属機関の管理の下、各年に分けて使用してください

*支援金は、年次贈呈式終了後に、受賞者への支援金を管理するための受賞者所属機関の銀行口座へ振り込みます。支援金を所属機関の規定に従った研究費として管理・使用するに必要な事務処理等は、受賞者ご自身で行ってください

支援決定時の義務・条件

書類の提出（当財団指定の書式による）

- ・研究支援に関する誓約書：贈呈決定後、1か月以内
- ・振込依頼書：贈呈決定後、1か月以内
- ・会計報告書：支援金使用期間満了時（満了前に支援金全額を使用した場合はその時点）から、1か月を目途に提出してください
支援金使用期間満了時点の研究成果報告を記載いただく項目もございます
なお、支援金使用期間が1年以上の場合は、支援開始から1年経過した時点で、中間の会計報告書を提出していただきます（中間報告には研究成果報告の必要はありません）

贈呈式への出席

- ・贈呈式を平成27年11月11日に香川県高松市の「サンメッセ香川」で執り行います。贈呈式には受賞者ご本人にご出席願います
- ・平成29年11月に開催（日時、場所は未定）する年次贈呈式において、10分程度の研究成果の発表をお願いいたします

支援金使途

●設備備品費

主たる費用に使用しないでください

汎用性のある機器(例：パソコン、ファクシミリ、複写機)の購入費は対象外とします

●旅費交通費

原則として、受賞者本人の旅費(交通費・宿泊費)とします。共同研究者等の旅費にも充当可能ですが、受賞者の調査や発表に同行する、あるいは研究プロジェクトの一環として調査や発表を行うといった場合に限りです

決算においては、鉄道普通運賃及び指定席特急料金(グリーン料金を除く)、普通席の航空運賃及びリムジンバス運賃、路線バス運賃、船舶普通運賃をルートとともに記入してください。なおルートは、経済的な実際の経路とし、調査や発表に関係のない都市の経由は認められません

また、出張にかかわる日当は支払いの対象に含めないこととします

●謝金

外注作業、フィールド調査、アルバイトの謝金は対象に含めます

【対象例】

- ・実験、研究資料及び調査資料解析などの謝金
- ・講演、討論などの謝金、外国文書の翻訳、ワープロなどを業としていない者に依頼した場合の謝金
- ・事務補助、資料整理などの定型的業務について一時的に業務を依頼した場合の謝金

●消耗品費

研究の用に供する消耗機材、医薬品、動物及び飼料、各種事務用品、雑誌など、その性質上使用するに従い消費され、長期使用に適さないもの

●資料費

書籍、文献、写真代 等

●印刷・複写費

文書、図面、パンフレットその他資料などの印刷代 等

●通信運搬費

郵便料、切手代、運送費(宅配便代等)、通信・電話料

●その他

上記以外の研究に要する費用

*応募者が所属する機関等の間接経費・一般管理費等は支援の対象になりませんので、必ず機関内で必要な手続きをお取りください

*支援金を応募者や共同研究者等の労務費(給与や社会保険費等)に充当することはできません

※支援金使用期間満了時に残余金が発生する場合は、返納していただきます

※支援金の使途として著しい違反が認められた場合、当財団は受賞者に対して当該金額の返納を求めることがあります

研究成果の扱い

当財団の支援による研究成果については、積極的な論文発表や口頭発表をお願いいたします。論文発表等にあたり、当財団からの支援金を受けた旨をお書き添えください
研究成果に基づいた特許または実用新案の出願に際して、当財団は権利を主張しません

その他注意事項

- ・ご提出いただいた書類は返却いたしません。
- ・ご応募にあたり、受賞者本人、推薦者が作成された書類等は、写真データとして当財団内で永久に保存されます。
 - *保存されている書類が一般の閲覧に供されることはありません
 - *原本は、2年間保存の後、シュレッダー破棄されます。また、選外の方の書類は半年間保存の後にシュレッダー破棄されます
- ・受賞者名が記載される『贈呈式プログラム』や『事業報告』などは、当財団の記録として永久保存され、財団資料として広く配布されることがあります。
- ・年次贈呈式当日に配布される『贈呈式プログラム』には、受賞者の写真(本人提供のもの)、活動プロフィールが掲載されます。なおプロフィールの内容は、事前に当財団が受賞者本人または推薦クラブに確認を依頼いたします。
- ・『贈呈式プログラム』掲載の内容は当財団ホームページで公開されます。また、国際ソロプチミストアメリカ日本5リジョンや日本のソロプチミストクラブが発行する会報等に、その一部または全文が転載されることがあります。
- ・贈呈式では報道関係者等による取材があり、贈呈式の様子とともに出演者の写真や映像が公開されることがあります。
- ・当財団は、記録のため、専門の業者へ委託して贈呈式の写真を撮影します。
- ・専門業者が撮影した写真をインターネットで販売します。写真の購入方法は、贈呈式当日に推薦クラブへお知らせします。
 - *受賞者の推薦クラブと出席会員を対象とした限定販売となります
 - *販売にあたっては、「ログインID」「パスワード」のほか、「キャプチャ承認(ハッカー対策)」も実施します

個人情報の取扱いについて

ご応募にあたり提出いただいた書類の個人情報に関しては、「個人情報保護法」を遵守し、選考会、年次贈呈式運営(受賞者紹介時の利用を含む)および当財団の記録目的以外には利用いたしません。なお、当財団の個人情報の取扱いに関しては、ホームページをご覧ください。(<http://www.soro-jpf.net/disclosure/privacy.html>)



公益財団法人 ソロプチミスト日本財団
平成27年度 応募申請書
ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞

推薦クラブ名 SI

記入日：平成 27年 月 日

応募者について

【フリガナ】		【生年月日】	年 月 日 生れ
【氏名】	⑩	【年齢】	歳
【住所】 〒		【電話番号】	
【所属機関】		【職位】	
【所在地】 〒		【電話番号】	

学歴・職歴

受賞関係
(年月、表彰機関、
受賞の名称など)

これまでに
行った
主な研究

※ワープロ又は黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入してください。
※ワープロをご使用の場合、文字フォント10.5ポイント以上としてください。

●論文リスト（主な発表論文名）

- *全著者名（候補者名に下線）、論文題目、掲載誌名、巻（号）、ページ、発行年
- *論文を添付していただく必要はありません
- *論文題目は日本語で記載ください
- *別紙参照とせずに、欄内に記載ください

●女性研究者として、どのような困難がありますか

研究テーマ		研究分野	
-------	--	------	--

●研究の目的・目標

●研究の意義

●研究計画の概要（支援金の使途と関連づけながら時系列的に説明してください）

Blank area for the research plan summary.

●協同研究者

①	【氏名】	【年齢】	歳
	【所属機関】	【職位】	
②	【氏名】	【年齢】	歳
	【所属機関】	【職位】	
③	【氏名】	【年齢】	歳
	【所属機関】	【職位】	
④	【氏名】	【年齢】	歳
	【所属機関】	【職位】	

他 名

●他機関からの研究助成（科研費等の国の競争的研究費、他の財団等からの助成金は全て該当します）

< 支援金を必要とする研究について >

助成金の名称	金額（単位：円）	主な支出項目

< 申請者が最近5年間に受けた、その他の助成金について >

研究テーマ	受領年度	助成金の名称	金額（単位：円）

●所属機関長の承諾（大学院研究科長、学部長、研究所長等直属の機関長）

※本欄につきましては、手書き・スタンプ等にてご記入ください

当機関に所属する_____が「ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞」に応募し、支援金を申請することを承諾します。また、上記が受賞した場合、貴財団の支援金は、当機関の規定に従って管理し、上記の者の研究費として使用いたします。

平成 年 月 日

【所在】

【機関名】

【職名・氏名】

Ⓔ

【応募者】 _____

【推薦者】 _____ ⑩

*推薦者は、ソロプチミスト会員でない成人に限ります

【応募者との関係】 _____

*具体的にご記入下さい

【推薦理由】 ※専門用語の使用は極力避け、専門外の者でも理解しやすい内容で記述ください

公益財団法人ソロプチミスト日本財団
平成27年度 ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞 推薦状 2

【応募者】 _____

【推薦者】 _____ ㊞

*推薦者は、ソロプチミスト会員でない成人に限ります

【応募者との関係】 _____

*具体的にご記入下さい

【推薦理由】 ※専門用語の使用は極力避け、専門外の者でも理解しやすい内容で記述ください

推薦クラブ署名欄 国際ソロプチミスト _____ 会長 _____ ㊞

※本欄につきましては、手書き・スタンプ等にてご記入ください

ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞

趣 旨	<p>本賞は、当財団の創立30周年を記念し創設する 本賞は、教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている有能な女性を支援し、さらなる女性の躍進への足掛かりとなる機会を与えることを目的とし、研究費を支援する</p>
応募資格	<p>日本国内で上記の趣旨にかなった研究をしている日本人女性</p> <ul style="list-style-type: none"> * 国内の大学、その附置研究所、大学共同利用機関、ならびに前述の機関に準ずる機関に所属し、主体的に研究を進めている常勤の研究者（学生は不可） <ul style="list-style-type: none"> ・ 任期付研究者の場合には、応募時点において、当財団が指定する支援金使用期間の雇用が見込まれること * 営利企業等(株式会社等)に所属する研究者は対象外となります * 申請にあたり所属機関の長の承諾を得ていること * 原則として50歳以下の方がご応募いただけます * 過去10年間に当財団の賞や援助金を受けられた方はご応募いただけません * ソロプチミスト会員および関係者は、応募できません （関係者＝ソロプチミスト会員の三親等以内の女性） <p>※ 同一年度に、同一の候補者を複数の賞に推薦することはできません</p>
推 薦 者	<p>ソロプチミスト会員でない成人 2名 （応募者の研究を指導する立場の方と、研究環境について述べられる方）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 裏面に推薦理由をお書き下さい * 必ずしもこの用紙を使用する必要はありません。パソコンなどで推薦者が作成した書式でご記入いただいても結構ですが、A4判片面1ページに収まるようにまとめて下さい * 推薦状には、推薦クラブ会長の署名が必要です
<p>ご応募にあたり提出いただいた書類の個人情報について当財団は、「個人情報保護法」を遵守し、選考会、年次贈呈式運営（受賞者紹介時の利用を含む）および当財団の記録目的以外には利用いたしません なお、当財団の個人情報の取扱いに関しては、当財団のホームページでご確認下さい (http://www.soro-jpf.net/disclosure/privacy.html)</p>	

公益財団法人ソロプチミスト日本財団

当財団は、昭和54(1979)年3月24日に厚生省(現厚生労働省)を主務官庁とする民法上の公益法人として誕生しました。そして平成の法人制度改革において、内閣総理大臣より公益認定を得て、平成24(2012)年3月1日に内閣府を行政庁とする公益財団法人へ移行しました。

当財団は、ソロプチミスト精神に則り、さまざまな奉仕活動に対する援助や協力を行うことにより、より豊かな生活を実現し、国際相互理解の促進に寄与することを目的に、支援事業、奨励事業、顕彰事業、援助事業を実施しています。各賞と援助金の贈呈は、毎年日本各地で開催する年次贈呈式において執り行っています。

国際ソロプチミストは、管理職・専門職に就いている女性の世界的奉仕団体です。混迷を深める世界情勢にあって、人権と女性の地位を向上する活動をしています。

当財団は日本のソロプチミスト会員により設立され、日本におけるソロプチミストの奉仕の活動を継続・発展するために努力してまいりました。

これからも、公益財団法人として確固たる基盤の上に、公益事業を進めてまいります。